

進んで学ぶ図書館づくり

河内長野市教育研究会
図書館教育部会



河内長野市の学校図書館

小学校…13校
中学校…7校

学校司書は9名

(三日市小学校・長野小学校は専任)



三日市小学校図書館

三日市小学校

蔵書数

11756冊

貸出総数

23730冊

児童数

679人

通常貸出ひとり1冊
長期貸出ひとり2冊

H29年度調べ

毎週1時間の「図書の日」

- 絵本の読み聞かせ
- ブックトーク、アニメーション、紙芝居など
- おためし読書
- 利用教育、情報教育



読み聞かせ



おためし読書



漢字アニメーション

・読書ノートへ記入



低学年用表紙



- 目次 -

前書き	_____	☐
使い方	_____	☐
本の記録	_____	☐
お楽しみページ	_____	☐
おきにいのりの本	_____	☐
おきにいのりのお〇〇〇	「 _____ 」	☐
おすすめの本リスト	_____	☐
本の分類を知ろう	_____	☐
後書き	_____	☐

奥付

書名	
著者	
年	
月	
日	
第1版発行	(本が出版された日)
発行	河内長野市教育委員会
(出版責任者)	河内長野市原町1-1-1
	TEL 0721-53-1111
編集	河内長野市学校図書館司書の会

- 図書委員会活動

- 読書週間

- たくさん読んで賞 表彰

- おすすめ本掲示

- 日本絵本賞読書賞

- えほんのひろば

- 市立図書館との連携 など



河内長野市の取り組み

小学校の研究テーマ

『子どもが喜びを感じ、
学ぼうとする意欲を育てる
図書館づくり』

調べ学習について

なぜ調べ学習なのか

①子どもたちに、自ら社会の変化や課題に向き合い、他者と協働する中で、必要な情報を見極める力をつけて欲しいと願っている。

なぜ調べ学習なのか

②課題を解決する上で、自分なりの考えを持ち、目的に応じて情報をまとめ、必要に応じて発信していく力をつけていく必要がある。

なぜ調べ学習なのか

③読書教育として、

「本を好きな子を育てる読書指導」
「学び方を身につけさせる
図書館利用指導」

調べ学習を通してこの2つの指導を
より充実させていきたい。

なぜ調べ学習なのか

各学年の発達段階に応じて、
系統的、段階的、計画的に
指導する必要がある。



課題解決学習

情報の取り扱い方についての学習

～小学校学習指導要領解説より～

低学年

共通、相違、事柄の順序など
情報と情報との関係について理
解すること

情報の取り扱い方についての学習

～小学校学習指導要領解説より～

中学年

考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること

比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと

情報の取り扱い方についての学習

～小学校学習指導要領解説より～

高学年

原因と結果など情報と情報との関係について理解すること

情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと

1年から6年の取り組み

学校図書館を活用することで身につけたい力（河内長野市教育研究部会 図書館教育部会）

学年		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
調べ学習（情報の活用）	国語科	○図鑑などで調べる・まとめる ○大事な言葉や文を書き抜く 『くちばし』 『うみのかくれんぼ』 『じどう車くらべ』 『どうぶつの赤ちゃん』	○大事な事柄を抜き出す 『たんぼぼのちえ』 ○おもちゃの作り方の書き方を参考にする 『おもちゃの作り方』	○材料を集める・報告文を書く・引用したり要約したりする 『気になる記号』 ○材料を集める・報告文を書く・物事の関係を図で整理する 『食べ物のひみつを教えます』 ○科学読み物を紹介する 『ありの行列』 ○国語辞典（はしら・見出し語） 『国語辞典の使い方』 ○百科事典（目次や索引の使い方） 『百科事典の使い方』	○新聞づくり（割り付け・見出し） 『新聞をつくろう』 ○複数の本から探し、調べたことを情報カードに書く・調べたことを分類・整理し、発表する 『だれもが関わり合えるように』 ○報告する文章を書く ○音訓引き・部首引き・総画索引 『漢字辞典の使い方』	○新聞の編集の仕方や記事の書き方 『新聞を読もう』 ○理由づけを明確にして説明する 『グラフや表を用いて書く』『天気を予想する』 ○伝記を読んで自分の生き方について考える 『百年後のふるさとを守る』 ○事例と事実の関係をおさえて自分の考えをまとめる 『想像力のスイッチを入れよう』	○筆者の考えをとらえ、自分の考えと比べて書く 『自然に、学ぶ暮らし』 ○自分と本との関りについて考え、伝え合う 『私と本』『森へ』 ○パンフレットづくり・町のよさを伝える 『ようこそ、私たちの町へ』 ○考えの根拠になる情報を集める 『未来がよりよくあるために』 ○資料を示してスピーチしよう 『今、私は、ぼくは』
	その他の教科	○図鑑などで調べる 生活「あさがおのかんさつ」 生活「くさやむしをさがそう」 生活「むかしのあそびをしよう・むかしのおもちゃをつくろう」	○おもちゃの作り方を調べる 生活「おもちゃをつくろう」	○情報を集める・報告文を書く 社会「わたしたちの市のようす」 社会「しりょうからわかること」	○新聞にまとめて知らせる 総合「人やものに関わり合うための工夫について調べて知らせ合おう」	○事実と区別して、活動を報告する文章を書く 総合「活動報告書」 ○自分の考えのうらづけとして資料を利用する 理科「台風と天気の変化」「グラフや表を用いて書こう」 理科「米作り・水産業のさかんな地域」 総合「環境について調べよう」	○パンフレットづくり・町のよさを伝える 総合「ようこそ、私たちの町へ」 ○考えの根拠になる情報を集めよう 総合「未来をよりよくするために」
学校図書館利用		低学年		中学年		高学年	
		○すきな本を紹介しあう ○図書館の利用の仕方 （借り方・返し方・本の扱い方・分類・本のある場所） ○読書ノートに記録する ○新聞の写真に記事		○図書館の工夫を知る（並べ方・表示の仕方） ○読書ノートに記録する		○本の帯・ポスター・ポップ・著作権・ブックトーク ○伝記の特色を知る ○読書ノートに記録する ○読書記録を読み返し、本との関わりを意識する	
		読書タイムの確保 読み聞かせ 読書への啓発に図書委員会を活用 NIE の実践 読書週間					



研究授業について

授業の様子

なんて書いたら
いいの？



どれが大事なの
かな？

社会の浄水場について新聞づくり

研究授業について

調べ学習の進め方

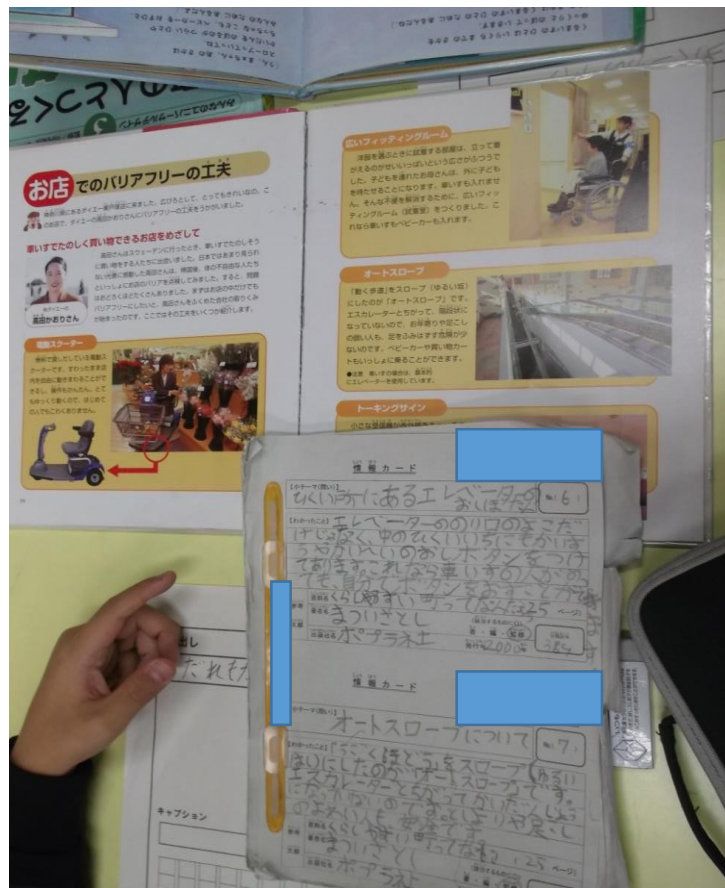
- ①イメージマップの決定
- ②情報カードを用いての情報収集
- ③調査した内容の分析・整理
- ④新聞の作成
- ⑤新聞を使っでの発表・
質問カードを取り入れたふり返し

①イメージマップの決定



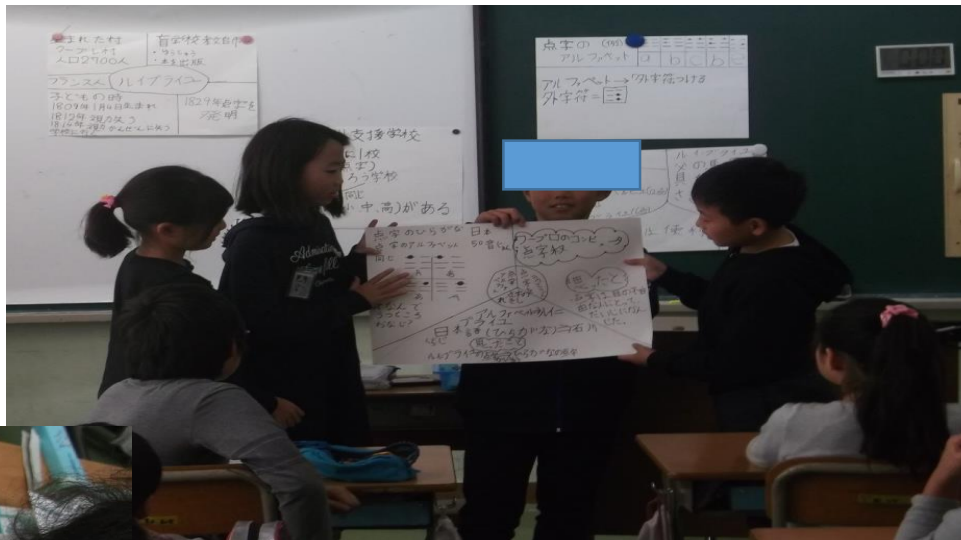
★課題を決めるために情報を広げているところ。

②情報カードを用いて情報収集



★ 情報カードを書き、情報集めをしているところ。

③調査した内容の分析・整理

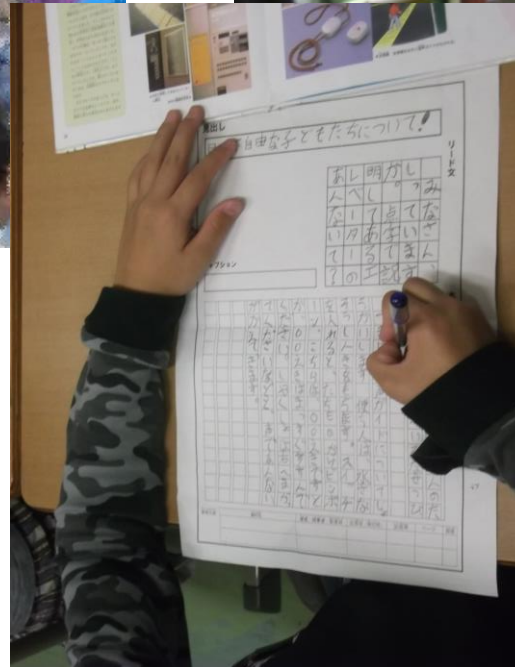


★情報カードから集めた情報を分類・整理し、発表しているところ。

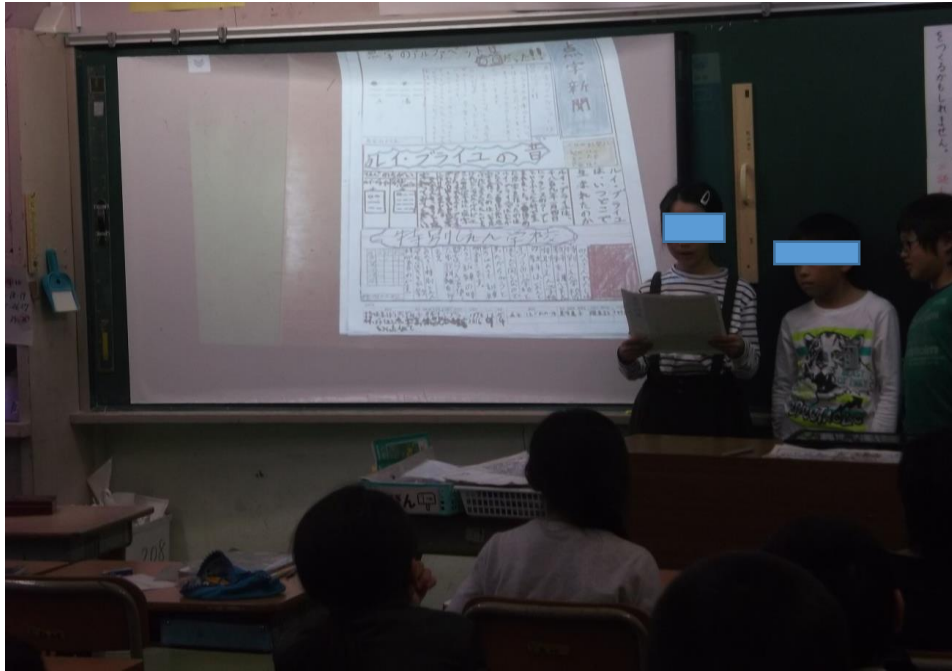
④新聞の作成



★新聞局員になって、記事の下書きを書き、割り付けやレイアウトを学び、新聞作成しているところ。



⑤新聞を使っでの発表・ 質問カードを取り入れた振り返り



★新聞を発表するのを聞いて、質問カードを書いたり、
素敵な文章表現を見つけたりしているところ。

調べ学習の流れ

課題設定から、課題解決までの一連の学習の流れを繰り返し学習する。



思考力・表現力の充実

研究授業について

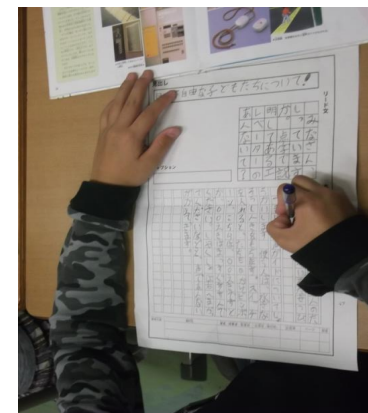
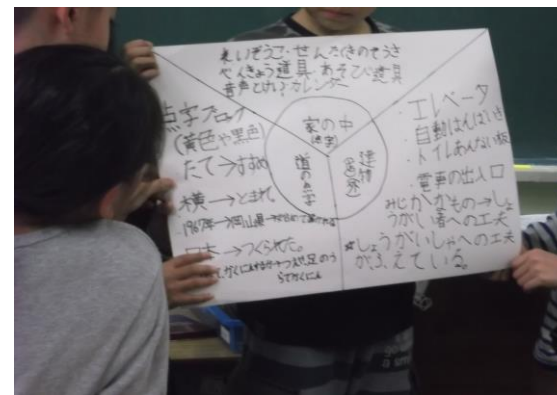
国語科学習指導案

調べたことを整理し、発表しよう

『だれもが関わり合えるように』

資料「手と心で読む」大島健甫

(光村図書 小学校4年上)



研究授業について

公開授業の様子

①下書き記事を発表する。



②友だちの記事の素敵な文章や言葉に線を引く。



③トップ記事を決める。



研究授業について

公開授業の様子

④ トップ記事を決めた理由の発表。



⑤ 学校司書による参考文献の確認。



⑥ 割り付けやレイアウトを考える。



研究授業について

読む人に分かりやすく伝える
文章を考えている。

公開授業の様子

⑦参考文献の紹介。



⑧おすすめの文章表現を発表。



みなさんは、電車に乗るときに、改札口のところを気にしたことはありませんか。
バリアフリーは、これからも増えていくと思います。

今後の取り組みや課題

【討議会の内容】

- 段階を追って指導・添削をしているので学習意欲が高まっていた。
- 時間がかかるが繰り返し経験が必要。
- 学校司書が児童の本のニーズやつまずきがつかみやすい。
- 事実や出来事と感想が一緒になっているため、記事を分けて書くことも教えていくこと。

今後の取り組みや課題

【討議会】

助言者：豊中市立岡町図書館
内川育子先生

＜教えていただいたこと＞

- ①なぜ調べ学習が必要なのか。
- ②なぜ学校図書館を利用するのか。
- ③どんな力をつけさせたいかをはっきりさせる。
- ④調べ学習について。

今後の取り組みや課題

①なぜ調べ学習が必要なのか

不確実で曖昧な現代社会において、
それに対応できる子どもを育てるため、
必要なスキルを作るのが、

「主体的・対話的で深い学び」といえる。
知識も常に変わり続けるなかで、自分で
考え、自分で学ぶためには、調べ学習が
とても大事である。

今後の取り組みや課題

②なぜ学校図書館を利用するのか

学校図書館とは、施設であり、資料が並び、そして人がいてこそ成り立つ。

学校司書により、知識の体系が分かるように本が配置されている。

それらの良さを積極的に利用させるべき。

今後の取り組みや課題

③どんな力をつけさせたいかをはっきりさせる

低学年では、図鑑。中学年では、参考文献について意識させる。など学年ごとに**つけさせたい力を意識させる**ことが必要となる。

今後の取り組みや課題

④調べ学習について

活動のレベルを意識させる。自分が知りたい内容・テーマはどの部分なのか。
また、思考のどの階層のことなのか。

『調べる→まとめる→発表する→新しい疑問をもつ→調べる』

★主体的に取り組むきっかけとなる。

今後の取り組みや課題

【河内長野市の先生と学校司書との連携】

◎調べ学習を通して、『子どもたちが喜びを感じ、学ぼうとする意欲を育てる』ためには、学校図書館を積極的に活用する力を子どもたちに身につけさせていくことが大切である。



発達段階に合った学校図書館活動を考え、継続的に各教科における課題解決の学習を進めていきたい。